

令和4年度 第3回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会 議事録概要

会議名称	第3回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会
開催場所	加古川市役所北館 4階 大会議室
開催日時	令和5年2月20日(月) 19時00分から21時00分
出席者	委員：浅野良一、住友剛、曾我智史、吉田圭吾 ※菱田委員は欠席 事務局：織田信吾、稲岡剛、岸田直也、桐山朋宏、杉本達之、松尾光隆、今津幸央、真鍋裕美、大西健司、藤尾昌也、辻俊幸、山下純一、伊藤良介、田中啓介、寒川真理子、飯島健太郎、中塔貴志、今井淳二
会議次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 令和4年度2学期いじめ防止対策の取組状況について 資料1 別添資料①～④ (2) 令和4年度2学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況自己点検について 資料2 (3) いじめ防止対策改善基本5か年計画終了後のいじめ防止対策について 資料3、4、5 (4) その他 4 令和5年度 第1回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について 5 閉会 6 学校での対応事例について(非公開)
配布資料	1 次第 2 令和4年度2学期いじめ防止対策の取組状況 資料1 別添資料①～③ 3 令和4年度2学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況自己点検 資料2 4 加古川市いじめ防止基本方針(案) 資料3 5 令和5年度加古川市いじめ防止対策計画(案) 資料4 6 令和5年度いじめ防止対策プログラム(案) 資料5
傍聴者	7名(一般、報道関係者)

会議要旨(発言者、発言内容、審議経過等)	
(委員長)	議事(1)、議事(2)及び議事(3)については、通常通り進める。6の「学校での対応事例」については、個人や事案が特定できる可能性のある情報を含むため、非公開とする。  3 議事 (1) 令和4年度2学期いじめ防止対策の取組状況について
(事務局)	<事務局報告> 資料1について
(委員)	相談行動促進(自殺予防教育)の授業では外部講師のアドバイスを受けて、子どもが安心して過ごせる居場所づくりに向けて教員の指導力の向上を図っていただきたい。

(委 員)	相談行動促進の授業では、子ども達の表情の変化を読み取り、フォローアップしていくことが必要ではないか。
(委 員)	家庭での課題を抱えている子どもが増加しているが、子どもの対応について市長部局と連携して取り組むべきである。
(委 員)	教師が子どもと向き合うことで、子どもの困り感が実感できる。そのことが教師のスキルアップにつながると考えている。
(委 員)	アセスの学習、対人関係または両方が要支援領域で、生活満足度の値が高い要支援レベル4の児童生徒が増加しているが、要因を分析してほしい。
(委 員)	ネットいじめは、保護者の協力が必要となるため、学校は年度当初に保護者へ協力を依頼してはどうか。
(委 員)	学校は重大事態を積極的に認定し対応することで、いじめ対応に関する調査方法を学ぶことができる。
(事務局)	家庭への支援として関係する部局に直接話をしに行くなど密に連携を図っている。また、家庭での見守りについてはチラシ等を活用しながら啓発している。 相談行動促進に関しては各学年で身につけさせたい力を明確にし、系統立てて学習できるように計画している。
	<b>(2) 令和4年度2学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況自己点検について</b>
(事務局)	<事務局報告> 資料2について
(委 員)	自己点検の評価で、中学校は「できた」よりも「おおむねできた」が多いので、教育委員会は中学校への支援が必要と感じた。
(委 員)	良い評価が多いが、PDCAサイクルを回すのであれば、厳しく評価する方が課題は見えてくるのではないかと思う。
(事務局)	各学校に事例検証の必要性をより意識してもらおうようにさらに働きかけていく。
	<b>(3) いじめ防止対策改善基本5か年計画終了後のいじめ防止対策について</b>
(事務局)	<事務局報告> 資料3、4、5について
(委 員)	いじめ防止対策計画(案)に子どもの権利条約が記載されているので、基本方針の「はじめに」の中に記載が必要である。
(委 員)	いじめの基本認識の中でも、「いじめは、どの子どもにもどの学校にも起こり得るもの

	<p>である」「いじめは人権侵害であり、人として決して許される行為ではない」「いじめは大人には気づきにくいところで行われることが多く、発見しにくい」が重要である。いかなる理由があろうともいじめを認知する姿勢が大事である。</p>
(委員)	<p>SNSを介した性的事案が多く発生していることから、いじめの基本認識の中に「公表罪」も必要ではないか。</p>
(委員)	<p>「いかなる根拠があってもいじめを肯定するものにはならない」という文言を、いじめの基本認識に記載してはどうか。</p>
(委員)	<p>重大事態が発生した際は、実態調査と学習支援が両輪となって対応すべきであることから、重大事態への対処の章に記載してはどうか。</p>
(事務局)	<p>いただいた指摘を参考にして修正し、再度提示させていただく。</p> <p>4 令和5年度第1回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について 令和5年5月31日(水)に開催する。</p> <p>6 学校での対応事例について(非公開)</p>
	<p>以 上</p>